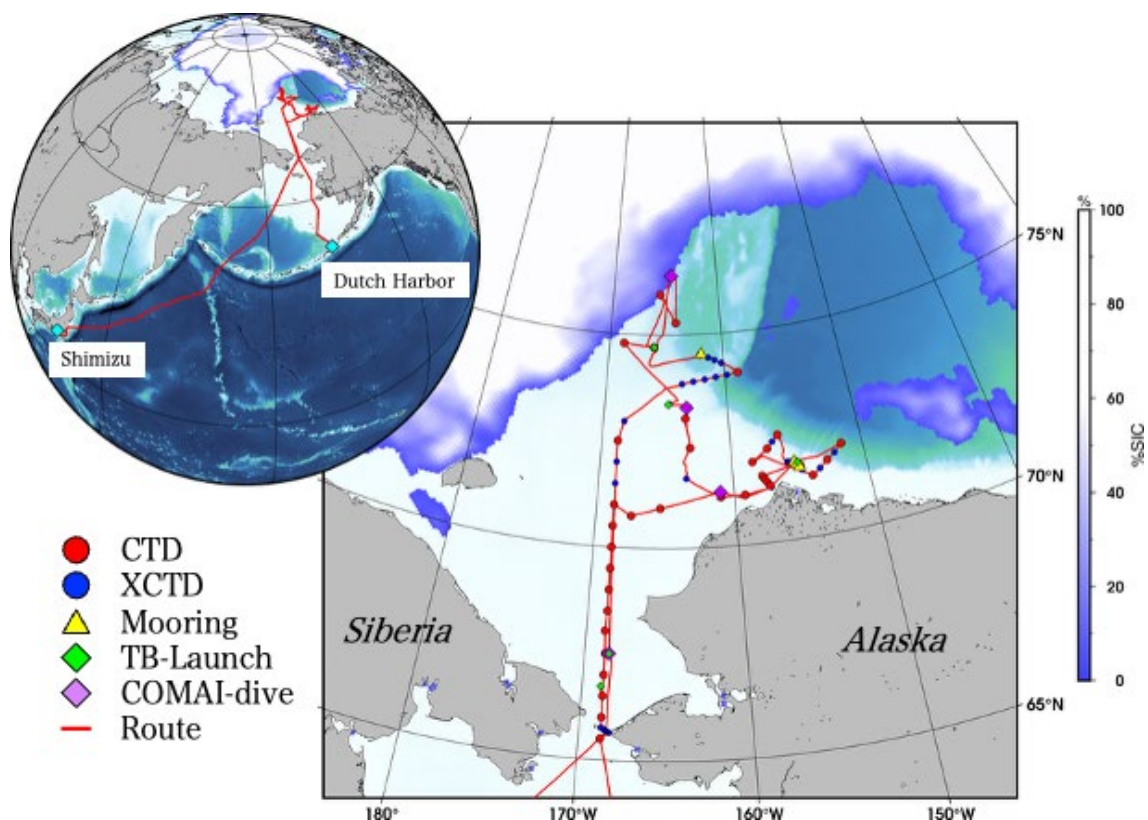


クルーズサマリー

1. 航海情報

- 航海番号 MR25-05C
- 船舶名 みらい
- プロジェクト名 北極域研究強化プロジェクト(ArCS-III)
- 航海名 北極域研究強化プロジェクトによる観測航海
- 首席研究者 [所属機関] 藤原周 (海洋研究開発機構)
- 課題代表研究者 [所属機関] 渡邊英嗣 (海洋研究開発機構)
- 研究課題名 北極域研究強化プロジェクト(ArCS III)による観測航海
- 航海期間 2025年8月31日～10月5日
- 出港地～帰港地 米国ダッチハーバー～清水
- 調査海域名 北極海・ベーリング海・北太平洋
- 調査マップ



本プロジェクトの航跡図・観測点図。CTD 観測点、XCTD 投入点、係留系設置・回収点 (Mooring)、係留気球観測実施点 (TB-Launch)、水中ドローン試験潜航実施点 (COMAI-dive) の位置をそれぞれ示している。また、北極海内観測中 (北緯 65 度以北滞在期間中) の 9/4-9/24 の平均海氷密度分布 (AMSR2/GCOM-W) をカラースケールで表示した。

2. 実施内容

本航海は、北極域研究強化プロジェクト(ArCS3)の枠組みの下、激変する北極海的环境変動を明らかにするため、学際的な観測研究を行うことを目的として実施された。チュクチ海を中心とした太平洋側北極海を主要の対象海域とし、基礎海洋観測(CTD/採水観測)を基軸に、係留系の回収・設置、微量元素分析、採氷観測、プランクトンネット・映像観測、海洋フロントの精密構造観測(曳航CTD)、海洋の炭素固定の鉛直分布調査、係留気球・ラジオゾンデを用いた気象・大気観測、古環境復元のための採泥観測、開発中の自律型水中ドローン COMAI の潜航試験を行った。当海域には多年氷が卓越して分布しており、その多量の融氷水のシグナルを観測した。